



夏休みに入ります

7月21日から8月23日まで、夏季休業になります。

6月には、1年ぶりに県高校総体が行われ、各競技で熱い戦いを繰り広げました。7月には、感染対策を万全にして体育祭を行い、昨年は中止した球技大会も実施しました。夏休みも全国高等学校総合文化祭(美術部)、課外、集中学習会、部活動、各種大会、コンクールと、北高生は熱い夏を過ごします。北高生の活躍をお伝えいたします。

高校総体を終えて

剣道部 **佐藤 心美** (3年・大河原中出身)

私にとって2年半の剣道生活はとても充実したものでした。朝の自主練から放課後の練習まで土日も時間を割いてご指導くださった大山先生をはじめ、多くの先生方や保護者の方々に大変お世話になりました。そして、毎日笑いが絶えなく同じ目標に向かって一緒に努力を重ねてくれたことができたチームのみんなは、最高の仲間であり、共に過ごした時間は大切な思い出です。

コロナの影響で、出場権を得た東北大会が中止となったことは悔しかったですが、今後も剣道で学んだ感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思います。

体育祭を実施しました

蔦 光 (3年・亙理中出身)

今年の体育祭は、昨年コロナウイルスの影響で開催できなかった球技大会が復活しました。しかし、悪天候により、2日目の運動会が室内で行われました。急な変更が多かったのですが、生徒・実行委員共に臨機応変に動くことができたと思います。

蜜を避けるため、教室での待機時間が多くなりましたが、友達との絆を深めたり、勉強をしたりして、それぞれがとても良い時間を過ごせていたと思います。また、競技をしている時はクラスで団結し、全力で楽しめていたと思います。時々聞こえてくる「パワー」という声が、体育館にいるみんなを活気づけていました。

このような素晴らしい体育祭にできたのは、先生方や実行委員の力だけではなく、参加した一人一人が全力でプレーし、楽しめていたからです。来年以降も北高の伝統と生徒のパワーで素晴らしい体育祭をつくりあげていってほしいと思います。



生徒会長としての抱負

佐藤 来美 (2年・沖野中出身)

こんにちは。生徒会長来美です。会長になったからには、日々名取北高校の皆さんのため、全身全霊で仕事をいたします。次に皆さんと直接関わることができるのは後期生徒総会です。一つ一つの要望に対して真摯に向き合ってサポートいたしますので、たくさんの意見をお待ちしております。

生徒会の長としての自覚を持ちつつ、名取北高生の一人としてこれから一年間最大限に楽しみますので、みなさんも学校生活楽しみましょう。

ビブリオバトルに参加して

高牟禮 美空 (2年東華中出身)

私は今回校内のビブリオバトルに参加しました。ビブリオバトルとは、自分が勧めたい本を持ち寄り、時間内に相手を読みたくなるよう本を紹介していくというものです。私は簡潔にまとめることがあまり得意ではなく、本の良さを伝えられるかととても不安でした。緊張はしましたが、発表の中で他の人が紹介した本の魅力を知っていったら、自分が持ってきた本の良さが伝わるように一生懸命説明したりと、とても楽しく参加することができました。今回のことをきっかけに、友達と一緒にミニビブリオバトルをやりたいなと思いました。



進路行事を行いました

3年生保護者生徒進路説明会を6月26日(土)に実施しました。

7月12日(月)からの午前授業期間には、今年も例年同様に、宮城教育大学、宮城大学、東北学院大学、東北福祉大学、尚絅学院大学、山形大学の入試担当者をお呼びして、校内で入試説明会を実施しました(山形大学はオンライン)。7月16日(金)には、2年生対象に看護医療系ガイダンスを実施し、看護医療系の仕事について、仕事の説明や医療従事者として必要なことについて講話があり、その後具体的な仕事内容や資格取得について大学や専門学校の方から個別に説明をいただきました。

鈴木 華 (3年・名取一中出身)

今回の説明会を受けて、自分の進路実現に向けて、何をどのように取り組むべきなのかを理解することができました。受験生としての自覚を改めて持つことができました。また、保護者と説明を聞くことで、進路について親と向き合うきっかけになりました。



武田 心優 (3年・袋原中出身)

3年大学短大説明会

3年専門学校説明会

私は今回、専門学校についての進路説明会に参加しました。安易に考えていたこの先について考え直すきっかけとなりました。大学との違い、専門学校に進学するメリットとデメリットなど、意外と見落としていたことが多かったように思います。今のうちに知ることができてよかったです。専門学校に入るということは、そのまま仕事に直結します。入学した後に、「想像と違った」という人も多いそうです。つまり進路を決めるにあたって、よく知ることが大切なのだと感じました。後悔のない選択ができればいいと思います。



看護医療系ガイダンス



校内入試説明会(東北学院大学・尚絅学院大学)



3年公務員説明会

5月23日に名取市文化会館で演劇部の公演を行いました。演劇部は昨年の宮城県高等学校演劇コンクール中央大会において優秀賞一席となり、東北大会に出場しました。

単独公演を終えて

演劇部 千葉 絵莉香 (3年・広瀬中出身)

先日私たちは名取市文化会館で単独公演をさせていただきました。昨年は新型コロナウイルスの影響でできなかったため、上演できてとてもうれしかったです。今回上演したのは「百万年ピクニック」という既製脚本で、普段大会では創作脚本をやるので、話の解釈などがいつもとは違う難しさがありました。また、大会と違って自由にやりたいことができるので、役者も裏方も今回しかできないことに挑戦でき、私自身も今までと全く違った役をやらせていただきました。本番は、部員の保護者しか入場できませんでしたが、無事に公演することができ、盛大な拍手をいただくことができました。昨年できなかった2年生や今回が初舞台となる1年生はもちろん、私を含めこの舞台で引退してしまう3年生にはとてもいい思い出となりました。これも尽力してくださった顧問の先生方や支えてくださった周りの方々のおかげです。今回の経験と思い出を自分の次のステップにしていきたいと思います。



家庭クラブ活動について

及川 心月 (1年・亘理中出身)

私たち家庭クラブ委員会は、「グリーンコンシューマーになろう～名取北高生にできること～」をテーマに活動しています。活動内容としてあ、思いにレジ袋削減を目的としたエコバッグ製作と、生産者を知ることを目的とした東北コットンプロジェクトを行うことです。

今回は東北コットンプロジェクトを行うにあたり、学校近くで綿花を育てている耕谷アグリサービスの佐藤さんにお話をいただきました。東日本大震災を体験した後の佐藤さんの心情や、綿への想いをしっかりと伺うことができました。今後は、綿の販売をしている店舗で話を伺い、更に綿に関わる方々の想いを深く知ろうと思います。私たちはそんな想いを広く人に知っていただき、環境に配慮する消費者の輪を広げていきたいと思っています。